

## タイ教職員招へいプログラム

(2022年秋冬：オンライン開催)

### 募 集 要 項

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターでは、文部科学省委託「タイ教職員招へいプログラム」を実施します。つきましては、以下の要領で同プログラムに参加する日本教職員10名を公募します。

#### 1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）は、ユネスコの基本理念に基づき、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。

ACCUは2001年より、「先生が変わる 子どもが変わる 学校が変わる 学びの場」づくりに力を入れ、未来を担う子どもたちに影響力を持つ教職員を対象とした国際交流事業を実施しています。ACCUの教職員国際交流事業における日本のパートナー国は、2001年から韓国、2002年から中国、2015年からタイ、2016年からはインドが加わり、現在4ヶ国と連携、東アジアから東南アジア、南アジアに交流国を広げています。開始当初より現在までに、海外教職員は4ヶ国合わせて4,200人以上、日本教職員は1,100人以上が海を渡り、教育現場が舞台の国際交流を通して、これらの国々との相互理解と友好の増進に大きく貢献してまいりました。

日本とタイとの間の国際交流事業としては、2015年より「タイ教職員招へいプログラム」が文部科学省、タイ王国教育省（MoE）の協力のもとで始まりしました。第8回となる今年度は、2022年秋冬にタイの初等中等教育教職員15名を招へいし、公募による10名の日本教職員を交えて、オンライン交流プログラムを実施します。本プログラムでは、タイ教職員が本邦の教育制度、教育事情について理解を深めるとともに、対話交流を通じて参加教職員が主体的なチェンジメーカーとして変容していく端緒を開き、ひいては多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現を目指します。

#### 2. 本プログラムの目的

「出会い、対話、変容」をテーマに掲げ、次の(1)～(5)をねらいとする。

- (1) タイ教職員が日本の教育制度、教育事情について理解を深めること
- (2) タイ教職員が自らのコンフォートゾーンを飛び出し、「他者」と出会い、日本（異なる環境・文化・人）に触れること
- (3) タイと日本教職員が対話し、さまざまな価値観や考え方に触れ、相互理解や友好を促進すること
- (4) 参加者自身の教育実践等を振り返り、気づきや学びを共有し、行動へつなげること
- (5) プログラムに関わるタイ日双方の参加者のネットワークを構築すること。

上記目的のため、本プログラムでは吉田敦彦氏（大阪公立大学大学院 教授）をプログラムアド

バイザーにお迎えし、実施いたします。

### 3. 活動内容

オンラインのウェブ会議システムを活用し、以下の活動を行います。

- ・タイと日本教職員の対話交流（アイスブレイキング、ゲストスピーカーを交えた交流）
- ・リフレクション（振り返り、問い直し）を通じてビジョン共有

### 4. 日程

日付	時間	活動	参加対象日
11月26日 (土)	14:30-17:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式</li> <li>・プログラムオリエンテーション</li> <li>・日本の教育事情に関する講義受講</li> <li>・参加者の自己紹介、意見交換等</li> <li>・文化体験（日本）</li> </ul>	
11月30日 (水)	15:00-18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ教職員による日本の学校訪問 (奈良県立国際高等学校)</li> </ul>	
12月9日 (金)	9:50-11:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ教職員による日本の生徒（高校生）への授業</li> </ul>	
12月19日 (月)	16:00-21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日タイ教職員の対話交流「わたしのESD」①</li> <li>前半：アイスブレイク</li> <li>後半：ゲストスピーカー 住田昌治氏 (学校法人湘南学園 学園町)</li> <li>キーワード：ケアではぐくむ・学校を元気にするESD、カラフルな学校、学校経営</li> </ul>	○ (オンライン)
12月23日 (金)	18:00-21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日タイ教職員の対話交流「わたしのESD」②</li> <li>ゲストスピーカー 飯干望氏 (横浜市立大岡小学校 学年主任)</li> <li>キーワード：学校と地域をつなぐ ESD、地域発展、リラックスヨガ</li> </ul>	○ (オンライン)
12月26日 (月)	15:00-18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日タイ教職員の対話交流「わたしのESD」③</li> <li>ゲストスピーカー 高野慎太郎氏 (学校法人自由学園女子部中等科・高等科教諭)</li> <li>キーワード：中動態、創発、生成変化、性の多様性</li> </ul>	○ (オンライン)
2023年 1月9日 (月・祝)	18:00-21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日タイ教職員の対話交流「わたしのESD」④</li> <li>ゲストスピーカー 松本真紀氏 (奈良県立国際高等学校 グローバル探究主任)</li> <li>キーワード：自分の本気を授業にする、人・地域・世界とのつながり</li> </ul>	○ (オンライン)
1月20日 (金)	16:00-19:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各日程のリフレクション、ビジョン共有</li> <li>・閉会式</li> </ul>	○ (対面会合)

※状況に応じて、予定を変更させていただく場合もございます。

※1月20日（金）に限り日本国内（東京都内）の対面会合を予定しています。

## 5. 通訳

プログラム期間中は、原則として日本語⇄タイ語の逐次通訳が手配される。

## 6. 参加者

(1) タイの初等中等教職員 15名

※うち5名は、2015年から2019年に日本を訪問した参加者

※タイ教育省職員がオブザーバー参加として参加する予定（上記の参加者数に含まない）

(2) 日本の初等中等教職員 10名（公募による）

## 7. 参加資格

(1) 初等中等教育に携わる教職員（※1）で、日本またはタイとの交流に意欲的なこと

(2) ESD（Education for Sustainable Development）/SDGsに関心がある、または実践していること

(3) オンライン交流に必要な機材を用意でき、十分なインターネット環境があり、パソコンやアプリケーション（※2）の操作ができること

(4) プログラムの指定日（12/19, 12/23, 12/26, 1/9, 1/20）に参加でき、対話交流に積極的なこと

(5) 日本国籍を有すること

(6) 自らの気づきや学びを活かせる教育現場を有すること

※1：可能な限り、現職の学校教員を優先する。

※2：Zoom、Google、Jamboard、Padletなどを予定。

## 8. 1月20日（金）について

・閉会式当日は無線LAN(wi-fi)に接続できるノートパソコンをご持参ください。

・東京での対面会合にお越しいただいた方には、ACCU 規程に基づき往復交通費をプログラム終了後に支給します。詳細については参加決定者に後日ご案内いたします。

## 9. 評価と報告

参加者は **2023年1月20日（金）プログラム最終日**にアンケートを提出してください。

## 10. 注意事項

(1) オンライン交流への参加にあたって必要な機材の調達、通信その他にかかる諸経費については、各自が負担することとする。

(2) プログラム期間中および事前の円滑な情報共有および継続的な交流のため、参加者は、プログラム前日の11月25日（金）までに ACCU が運営する会員制 SNS「Asia-Pacific Educator's Platform: TREE」への会員登録を行うこと。

### 1 1. 申請・参加手続

参加を希望する場合は、期日までに以下のファイルを電子メールで送信してください。手書きの文書は受け付けません。申請用紙（指定様式）はホームページからダウンロードできます。

#### ・参加申請用紙（Excel）

ファイル名：2022\_タイ招へい参加者申請用紙（〇〇〇〇〇）

※ファイル名にある〇〇〇〇〇は応募者のお名前に替えてください。

### 1 2. 応募書類の送信先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部

Email: accu-exchange\_ml@accu.or.jp

メールの件名を「タイ教職員招へいプログラム応募（〇〇〇〇〇）」とし、〇〇〇〇〇は応募者のお名前に替えてください。

### 1 3. 応募締切日時

2022年11月4日（金）正午

### 1 4. 選考

- (1) 先着順で応募を受け付け、定員に達し次第締め切ります。場合により新規応募の方を優先します。
- (2) ご参加が決定した方は、参加決定通知後に自己紹介映像(日本語で 30 秒程度)をお送りいただきます。オンラインによる交流をスムーズにするために、参加者限定で閲覧できるホームページに掲載し、事前に参加者の様子をお互い知り合う目的です。詳細につきましては、参加者の方に後日ご案内いたします。

### 1 5. その他

以下に関して、あらかじめ了承した上で応募してください。

参加者の個人情報についてはプログラム運営・評価・フォローアップ以外の目的では使用せず、厳重に管理するとともに個人情報の保護に努めます。なお、プログラム中に撮影した写真等は、ACCU や文部科学省の報告書・冊子・ホームページ等の情報媒体に使用されることがありますのであらかじめ了承下さい。

### 1 6. お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部（伊藤・蓮見）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL: 03-5577-2853 FAX: 03-5577-2854 Email: accu-exchange\_ml@accu.or.jp